

評価項目		項番	区分	評価基準	重要度	配点
大分類	小分類					
1. 提案コンセプト	業務に対する提案者の理解及び基本的な取組方針	1-1	※ 1	・ 本県が本システムを構築するに当たって、提案者が重視する提案事項について、調達仕様書に沿って記載されているか。 ・ 本業務の位置付け及び目的が、調達仕様書に記載されている再構築の方針を考慮して記載されているか。 ・ 本業務の受託者としての役割・取組方針及び留意すべき点が具体的に記載されているか。	Ⅳ	20
	業務効率化への取組方針	1-2	※ 2	・ 柔軟な働き方を実現するためにペーパーレス化を進め、電子決裁運用を行うための具体的な提案や実現方法が記載されているか。 ・ 入力データの一括登録や入力内容のチェック機能等による入力処理の効率化のための具体的な仕組みや実現方法が記載されているか。 ・ 予算管理・決算業務や定型・非定型な各種資料の作成の負担が軽減される具体的な仕組みや実現方法が記載されているか。	Ⅴ	30
	業務改革の考え方	1-3	※ 2	・ 富山県土木部及び農林水産部がDXによる働き方改革を実現するため、仕様書別紙4「業務フロー」を変更する等により改善・改革内容について具体的に記載されているか。	Ⅴ	30
	中長期的な利用への取組方針	1-4	※ 1	・ 中長期的に安定運用可能であり、ライフサイクルコストを削減するために採用している考え方や技術等について具体的に記載されているか。	Ⅴ	30
	業務の委託作業の範囲及び内容	1-5	※ 1	・ 本業務の受託者が実施する各作業の範囲及び内容が、調達仕様書に対応して記載されているか。	Ⅲ	15
2. 会社概要・業務実績	会社概要	2-1	※ 1	・ 会社規模（資本金、従業員数、売上等）、代表者名、設立年月及び事業概要について記載されているか。	Ⅰ	5
	業務実績	2-2	※ 1	・ 本システムまたは同等システムの構築及び運用保守実績について、顧客概要、業務概要、システム概要・規模、期間、工数及び実施効果が具体的に記載されているか。 ・ また、その業務遂行において発生した課題及び実施した対応策について具体的に記載されているか。	Ⅲ	15
3. 機能要件	機能要件の実現方法	3-1	※ 1	・ 調達仕様書で求める要件をよく理解し、本システムが実現すべき機能を実現するための考え方及び方法が具体的に記載されているか。	Ⅳ	20
	機能の充実	3-2	※ 1	・ 別に示す計算式により、「選択」項目について実施すると提案があったものについて加点する。ただし、実施できないと判断した項目については、加点しない。 ※業務機能一覧（仕様書別紙5）による。富山県建設工事総合管理システム事業管理システム再構築及び運用保守業務落札者決定基準2.3技術評価のとおり。	—	30
4. システム構成	操作性要件	4-1	※ 2	・ 帳票や画面等の実例やイメージを交えて分かりやすく記載されているか。 ・ 利用者が直感的に利用するための考え方及び方法が具体的に記載されているか。	Ⅴ	30
	外部連携についての考え方	4-2	※ 1	・ 本システムと庁内他システムとの連携について、各連携先との連携仕様の調整及び連携テストの実施並びに連携先仕様変更時の対応方針について具体的に記載されているか。	Ⅴ	30
	システム全体構成	4-3	※ 1	・ 調達仕様書で求める要件をよく理解し、本システムの全体構成及びネットワーク構成並びにその構成とした理由が具体的に記載されているか。特にセキュリティを確保するための方法が具体的に記載されているか。	Ⅳ	20
	提供クラウドサービス	4-4	※ 1	・ 本システムの特性を踏まえ、提供するクラウドサービス並びにその選定理由及び調達仕様書で求める要件に適合していることが具体的に記載されているか。 ・ 提供するクラウドサービスに係る利用実績を証明する資料及び第三者認証の取得を証明する資料が添付されているか。	Ⅲ	15
	性能の確保	4-5	※ 1	・ 本システムが想定する利用者数及び事務処理件数を処理するためのサーバスペック及びレスポンスの目標値に関する考え方及び実現方法が具体的に記載されているか。	Ⅳ	20

評価項目		項番	区分	評価基準	重要度	配点
大分類	小分類					
	信頼性の確保	4-6	※ 1	・本システムの故障・障害・災害対策、システム稼働率の確保、システムダウンに至らないため構造について考え方及び実現方法が具体的に記載されているか。	Ⅲ	15
	機能の拡張性	4-7	※ 2	・将来的な適用業務の取り扱い変更、連携対象システムの追加、他団体との共同利用を実施する場合を想定し、機能の拡張性及び汎用性並びに機能追加に要する期間についての方針が記載されているか。	Ⅲ	15
5. 開発要件	開発方法	5-1	※ 2	・開発推進に関する考え方について、本業務の特性をよく把握し、効果的な推進方法が具体的に記載されているか。	Ⅲ	15
	プロジェクト体制	5-2	※ 1	・本システムの構築に係る業務実施体制が記載されているか。 ・プロジェクト管理に携わる者の実績を証明する資料が添付されているか。 ・主要な要員が備える資格（IPAが行う「情報処理技術者試験」等の資格）又は実績が記載されているか。 ・プロジェクトにおける役割及び担当並びに管理体制が記載されているか。 ・本県と受託者との役割分担が記載されているか。	Ⅲ	15
	開発スケジュール	5-3	※ 1	・本システムの構築に係るスケジュールが記載されているか。 ・本プロジェクトにおけるマイルストーンがスケジュール内に設定され、各工程の作業内容及び進捗確認並びに計画遅延等の障害発生時の対応方針について具体的に記載されているか。 ・本県の繁忙期を踏まえたスケジュールが記載されているか。	Ⅳ	20
	テスト要件	5-4	※ 1	・各テストの実施内容及び合格基準並びに不合格時の対応方針について具体的に記載されているか。 ・テスト時の本県職員等の役割が記載されているか。	Ⅲ	15
	研修要件	5-5	※ 1	・研修の実施方法、システム環境の整備、本県職員等の役割分担及び研修参加者からの質問への対応に関する考え方及び対応方針について具体的に記載されているか。	Ⅲ	15
	移行要件	5-6	※ 1	・現行システムからのデータ変換・チェック、データベース登録までのデータ移行計画が具体的に記載されているか。 ・本県と受託者の役割分担が記載されているか。 ・本県職員の負荷を配慮した対応策が記載されているか。	Ⅲ	15
6. 運用保守要件	運用保守業務に対する考え方	6-1	※ 1	・令和15年3月31日までの稼働を保証するための運用保守業務に関する方策について記載されているか。 ・システムの稼働時間（最大）が記載されているか。	Ⅲ	15
	運用保守業務要件	6-2	※ 1	・調達仕様書で要求している運用保守要件の範囲及び内容が記載され、その内容について事例や実績を示すなど、分かりやすく記載されているか。 ・運用保守実施体制や実施要員に求められるスキルが示され、本県との役割分担について具体的に記載されているか。	Ⅳ	20
7. ヘルプデスク業務要件	ヘルプデスク業務要件	7	※ 1	・調達仕様書で要求しているヘルプデスク業務の要件を実現するための対応体制、問合せ内容に応じたエスカレーション体制及び成果物に関する考え方及び対応方針について具体的に記載されているか。 ・稼働直後の本県職員の負荷を軽減する対応策が記載されているか。	Ⅲ	15
8. 秘密保持要件	機密、秘密保持に対する考え方	8	※ 1	・本システムの開発期及び運用期における秘密保持に関する規定等の制約条件に対する考え方及び対応方針が具体的に記載されているか。	Ⅲ	15
9. 独自提案	独自提案事項	9	※ 2	・提案者による独自提案事項が本業務にもたらす効果について具体的に記載されているか。	Ⅲ	15
						515

※ 1 価格と同等に評価できる項目：事業の実施体制、過去の実績等、事業の実行可能性を確保するための評価項目等

※ 2 価格と同等に評価できない項目：提案内容の創造性や新規性等に係る評価項目